

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 7年 6 月 25日

香川県知事 殿



提出者

住 所 香川県三豊市山本町神田乙288-25
氏 名 新タック化成株式会社 山本工場
代表取締役社長 小川 佳也
代理人 工場長 美藤 久佳
電話番号 0875-63-1221

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	新タック化成株式会社 山本工場
事業場の所在地	香川県三豊市山本町神田乙288-25
計画期間	令和 7年 4 月 1 日から令和 8年 3 月 31 日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	製造業
②事業の規模	製品出荷額 20億円
③従業員数	50人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙 図2-1、図3 参照

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

総括責任者：新タック化成（株） 山本工場 工場長

廃棄物担当者：山本工場員

環境管理者

処理計画作成担当

環境委員会 12名

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和 6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	
	排出量	55.56 t	t
	(これまでに実施した取組) ・生産終了後の残粘着剤を減らすために、最終調整時に残らないように調整する ・洗浄溶剤の使用要領を変更(1回使用した洗浄溶剤を捨てずに、2回または3回使用)することで、廃溶剤の削減を図っている。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	
	排出量	50.00 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・現状実施事項を継続して実施する。 ・生産する品種をできる限り纏めて生産することで、廃溶剤の削減を図る。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類：粘着剤混合廃液、洗浄用廃液、廃ウェス 分別：上記種類毎ドラム缶に入れ屋外貯蔵所に一旦保管し、定量になった段階で業者に引き取ってもらう。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状通りの取組みを継続して実施する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	
	全処理委託量	55.56 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	55.56 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
	(これまでに実施した取組) 当社が処理委託した廃溶剤が問題なく処理されていることを確認するため、1回/2年の頻度で業者視察を行っている。		

(第5面)

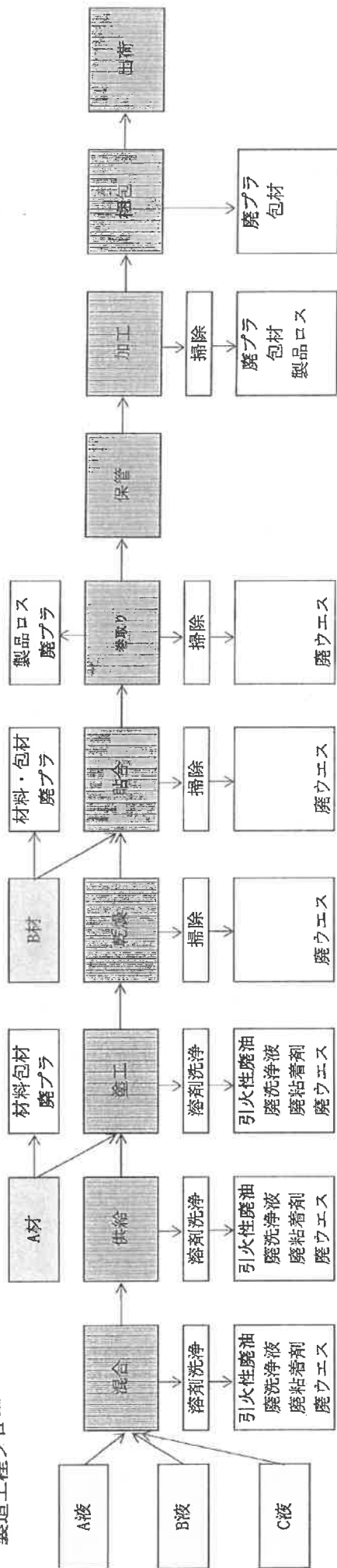
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油	
	全処理委託量	50.00 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	50.00 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	t
(今後実施する予定の取組) 定期的な業者視察を継続して行う。			
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度(令和6年度)実績】		
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	55.56 t	
	(今後実施する予定の取組) 電子マニフェスト導入済み		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

図2-1

製造工程フロー



廃棄物処理フロー図(図-3)

